

**2015年 総合生活改善
第4回中央生活闘争委員会
＜確認事項＞**

2015年 3月24日
自動車総連

- ☆ 2015年総合生活改善の取り組みにおいて、各単組は全ての取り組み項目について、要求実現に向け懸命に取り組みを進めている。
- ☆ 各単組は、3月14日(土)に開催した第3回中央生活闘争委員会における確認事項に基づき全力で交渉を進めており、拡大戦術会議登録組合の集中回答日である3月18日(水)から昨日までの間に、賃金・年間一時金等について妥結・妥結方向に至った単組の状況は次の通りである。

1) 解決状況 (2015年3月23日 13:00時点報告ベース)

①賃金

- ・賃金引上げを要求した1,073単組のうち、現時点において、妥結・妥結方向に至った単組は157単組、解決率は14.6%である。
- ・妥結・妥結方向に至った単組のうち、賃金改善分を確保した単組は144単組(獲得割合 91.7%)で、獲得額は単純平均で2,080円である。
- ・個別賃金については、339単組が要求し、現時点において、52単組が回答を引き出している。
- ・企業内最低賃金協定については、現時点において、5単組で進展が図られている。

	妥結・妥結方向単組数	賃金改善分獲得			個別賃金	
		単組数	獲得割合	金額 [単純平均]		
全体	157	144	91.7%	2,080円	52	
(前年最終実績)	(1,106)	(728)	65.8%	(1,161円)	(208)	
拡大戦術会議登録組合	12	12	100%	3,025円	5	
業種別	メーカー	13	13	100%	3,000円	5
	車体・部品	96	86	89.6%	1,771円	46
	販売	31	31	100%	2,200円	0
	輸送	5	3	60.0%	2,167円	1
	一般	12	11	91.7%	2,880円	0

②非正規労働者に関する取り組み

- ・非正規労働者に関する取り組みについては、直接雇用の60歳以降の再雇用者、パート・アルバイト、契約従業員、期間従業員のいずれかについて、賃金・一時金等の処遇改善に取り組んでいる。
- ・現時点では、拡大戦術会議登録組合(12組合)を中心に前進感ある回答の引き出しが行われている。

③年間一時金

- ・年間一時金を要求した1,068単組のうち、妥結・妥結方向に至った単組は95単組、解決率は8.9%である。
- ・妥結・妥結方向に至った単組の全てが年間での回答を引き出しており、年間平均回答月数は5.16ヵ月となり、68単組が5ヵ月以上を獲得している。また、前年と月数比較可能な単組のうち、65単組(全体の68.4%)で前年回答月数以上を獲得している。

【単位:単組数、%、ヵ月】

	妥結・妥結方向単組数	年間回答単組数	年間回答単組の平均回答月数				
			前年平均実績現時点	5ヵ月以上獲得	前年月数以上<比率>*1		
全体	95	95	5.16	4.93	68	65<68.4>	
(前年最終実績)	(1,078)	(939)	(4.34)	—	(291)	(818)<75.9>	
拡大戦術会議 登録組合	12	12	5.92	5.72	12	12<100>	
業 種 別	メーカー	13	13	5.62	5.48	11	13<100>
	車体・部品	72	72	5.09	4.89	51	44<61.1>
	販売	1	1	5.40	4.97	1	0<0>
	輸送	1	1	5.40	4.69	1	1<100.0>
	一般	8	8	4.98	5.06	4	7<87.5>

*1:比率は、妥結・妥結方向単組のうち、前年と月数比較が可能な単組について集計。

2) 今後の進め方

車体・部品、輸送、一般の各部門は、解決に向け最大限の追い上げを図るとともに、販売部門についても、各労連で設定した日程で納得のいく結果を導き出すべく、次の通り取り組みを進める。

①個別要求項目

(第3回中央生活闘争委員会 2015年3月14日 再掲)

<賃金>

- 全ての単組は、賃金カーブ維持分の確保に徹底的にこだわり、その原資を100%確保する。
- 賃金改善分については、昨年の価値ある成果を乗り越えるとともに、掲げた要求に沿った回答にこだわり、最大限押し込む。
- 個別賃金については、平均賃金との同時決着を図る。
- 企業内最低賃金協定については、同じ企業に働く仲間である非正規労働者も含めた賃金下支えの観点に加え、広く自動車産業で働く者の賃金下支えにつながる特定(産業別)最低賃金への波及も視野に、協定の締結や締結対象者の拡大、締結水準の向上に向け全力で取り組む。

<非正規労働者に関する取り組み>

- 個々の要求に込めた思いの実現に向けて、最後まで全力で取り組む。

<年間一時金>

- 年間一時金については、組合員とその家族の生活を守るため、また、組合員のこの一年間の努力・成果に報い、更なる意欲・活力に繋げていくためにも、賃金との「同時決着」「年間協定」を堅持するとともに、要求水準への組合員の強い思いを踏まえ、「満額獲得」に向け最後まで押し込む。

<総実労働時間>

- START12の方針に沿った各単組の3ヵ年計画に基づき、総実労働時間短縮に向けた着実な前進を図る。

②回答引き出し

- 各単組は、各要求項目について同時回答を引き出し、3月末決着に向け最大限取り組む。
- ・各労連は、拡大戦術会議登録組合（12組合）の回答を活かしきるための体制を整えるとともに、回答指定日の重みを踏まえ、車体・部品部門は3月末決着、販売部門は昨年よりも一日でも早い決着を強く意識し、早期決着に向け取り組み、総連全体では遅くとも4月末までの決着を図るべく最大限努力する。

③第5回中央生活闘争委員会を4月17日(金)に開催する。

以 上